

令和6年度「重点指導事項」について（お願い）

令和5年度第53回全国中学校剣道大会の運営及び試合・審判についての反省と今まで引き継がれてきた課題から、次年度の新潟大会に向けて「重点指導事項」を策定いたしました。
つきましては、下記の項目について、各都道府県の大会や強化会・講習会等での積極的な指導をお願いします。

記

1 申し合わせ事項についての徹底

- (1) 「申し合わせ事項」（別紙）についてのご理解とご協力、指導の徹底をお願いします。

用具・着装全般（文字等を含む）について従来の伝統的な色や形を安易に変える傾向が若干見られますが、極力「申し合わせ事項」には加えず、「指導」の形で対応します。規則に固執することなく「質実」という伝統文化の良さを積極的にご活用いただき、ご協力をお願いします。

2 礼法について

- (1) 蹲踞の「始め」と「終わり」を正確・丁寧に行う。
※ 「始め」抜きながら蹲踞する。
※ 「終わり」納刀後、右手を右太股においてから立ち上がる。
◇ 詳しくは、前導要領P44、45参照
- (2) 団体の礼を組んでの発声やオマンス・胴づき、握手など
※ 団体の選手入れ替えを速やかに行う。
◇ 全日本剣道連盟剣道試合・審判運営要領「その他の要領」5項参照

3 その他

- (1) 危険かつ見苦しい暴力的行為は、厳に慎むよう指導ください。
(2) 「安易に変形する」を害す面が外れて適切な剣道着の加工を指導ください。
(3) 「鏢の面が外れて適切な剣道着の加工を指導ください。
(4) 剣道着の袖について、縫い上げ等の加工をしないよう指導ください。
(5) 袴など華美に刺繍やワッペンなど袴の裾には刺繍やワッペンを付けないでください。
(6) 試合者の名札は、生徒役員が判読しやすい字体にしてください。
(7) 試合者が、試合中に中止要請をする場合、「タイム」と発声するよう指導ください。
(8) 剣道着の袖について、縫い上げ等の加工をしないよう指導ください。
(9) 「応援は拍手のみ」を各地区大会から周知徹底してください。

- ※ 次年度の全国中学校剣道大会競技規則は、（公財）全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」及び令和6年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項による。更に、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判の方法として、以下を含めた試合・審判の方法とする。
- ① 令和4年5月27日 （公財）全日本剣道連盟発『主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン』
- ② 令和4年4月3日 （公財）全日本剣道連盟発『新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法』
- ③ 令和3年2月 （公財）日本中学校体育連盟剣道競技部長発『全剣連発出「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を受けての試合・審判に関する統一事項』解説映像（DVD）
- ④ 令和6年4月1日 『令和6年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部審判員共通認識事項』

令和6年4月4日

(公財) 日本中学校体育連盟
剣道競技部 各ブロック長 様
各都道府県剣道競技委員長 (部長) 様
各中学校剣道部顧問 様
各地域クラブ活動代表者 様

(公財) 日本中学校体育連盟
剣道競技部長 山下 克久

令和6年度「重点指導事項」及び抽選方法について

晩春の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本連盟剣道競技部の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、すでに令和5年10月2日付け、令5日中体第240-1号にて、令和6年度「申し合わせ事項」「重点指導事項」及び各種通知等について送付しております。

つきましては、改めて下記の事項について、全国の各中学校剣道部において、適切な指導が実施できますようよろしくお願いいたします。

記

1 重点指導事項について

- (1) 危険かつ見苦しい暴力的行為は、厳に慎むようご指導ください。
 - (2) 「安易に左拳を中心線から外す防御姿勢をとらせない」いわゆる「公正を害する変形な構え」について、今後も継続してご指導ください。
 - (3) 「鏝競り合いの解消途中」で時間空費が目的と思われる打ちを継続する場面が見受けられます。反則行為としてご指導ください。
- ※ 上記については、厳しく反則を取りますので、くれぐれも事前に生徒へのご指導をよろしくお願いいたします。
- 併せて、「試合前の円陣等のパフォーマンスは慎む」、「応援は拍手のみ」、「面紐の長さとは結ぶ位置(高さ)」、「剣道着の袖の長さ」等についてもご指導ください。

<今年度の全国中学校剣道大会について>

(公財) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」及び「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」、「令和6年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項」並びに「令和6年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部審判員共通認識事項」(以下、「共通認識事項」とする)に従って進めます。こちらについても試合者、審判員への周知を図り、統一感を持って試合・審判にあたるようご指導ください。

なお、令和5年10月2日付けで通知した「共通認識事項」について、「(16)負傷または事故発生時の対応について」をより明確に整理しましたので、修正版も併せて送信いたします。

2 抽選方法について

平成27年度から、全国中学校剣道大会ではパソコンによる組み合わせ抽選を行っています。また、団体戦においては、ベスト16に勝ち上がった学校による抽選を行い、それ以降のトーナメントを決定します。令和6年度も同様といたします。